



# 清流小学校だより

～7月号～

令和3年7月21日

## 一日一日を大切にしてお有意義な夏休みを！

校長 大蔵 浩一

いよいよ子供たちにとって楽しみな夏休みが始まります。夏休みは今までの学習や生活を見つめ直し、新学期に備え志を新たに準備する絶好のチャンスです。この4月以来、お子様の健やかな成長を支え、本校の教育にご協力くださりありがとうございました。ご家庭でも「のびゆく子」を参考にされ、お子様がより良く伸びるための話題と励ましの材料にいただければと思います。

さて、江戸時代の儒学者である新井白石のエピソードに「一粒の米」があります。有名な話ですからご存じの人も多いかと思います。新井白石が子供の頃、父親から言われたことです。米びつから米を一粒取っても、入れても量の変化は分からない。一日勉強したから利口になるわけでもない、一日怠けたから愚かになるわけでもない。しかし、1年、2年と続けていけば必ず変化が見えてくるという内容です。期間は40日ほどですが、夏休みの過ごし方も同様ではないでしょうか。得意な学習を伸ばす苦手な学習を克服する、家の手伝いを決めて継続する起きる時間を決めて規則正しい生活を続けるなど……。何か続けられるものを見つけ、この夏休み中に続けられれば必ず得るものがあるかと思います。継続できるものは、2学期が始まってからも続けられるとさらに素晴らしいと思います。

子供たちが何よりも楽しみにしている夏休みですが、この時期、子供に関わる海や山の事故、交通事故、熱中症により重篤な状態に陥る等、残念ながら毎年日本各地で発生しています。特に、旅行先等、日常と異なる環境にあるときは注意が必要です。引き続き保護者や地域の皆様からの命を守るための言葉かけをお願いします。

夏休み中は午後から学校の図書室やグラウンドを開放します。有効に活用してください。時には地の利を生かした図書館や博物館、各種イベント等へ参加したり、ゆとりをもって過ごしたりとお子様にとって有意義な夏休みにしていただければと思います。そして、これまで身に付けてきた規則正しい生活のリズムを維持し、夏休みの経験が2学期からの学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力になりますよう願っております。

### 〈ティーボールセットの寄贈〉

7月14日（水）魚津市野球協会の方々3名が来校され、ティーボールセットを寄贈していただきました。児童を代表して運動委員会の委員長6年原帆乃香さんと副委員長の6年富居央樹さんが受け取りました。体育の学習や休憩時間に使用し、ティーボールに親しみたいと思います。

バッティングティー 1台  
バット 4本  
ボール 1ダース  
ベース 1セット



## 1年生の取組

# 楽しいな、タブレット学習

先日、タブレットを使った授業を行いました。1学期に何度かタブレットを使った学習を行ったので、子供たちはタブレットの起動、終了の仕方に慣れ、短時間で作業できるようになりました。学習では、あさがおや図画工作科の作品を写真に撮り、詳しく観察したり、自分や友達の仕事のよいところを見つけたりすることができました。また、算数のドリルに取り組む活動も行いました。ドリル学習は、各自で答え合わせをし、できたら次の問題に取り組めるので、自分のペースで問題に取り組むことができます。そのため、どの子も集中して学習に取り組んでいました。授業の終わりには、「楽しかった」「またやりたい」等の声が聴かれ、毎回、とても楽しみにしていることを感じます。

次回は2学期に行う予定です。いろいろな教科でタブレットを用いた学習を行うことで子供たちが楽しく、分かりやすい学習ができるように工夫していきたいと考えています。

(1学年主任 山谷 敦子)



## 子供たちの様子 「縦割り班ウォークラリー集会」 6月29日(火)

縦割り班で様々なゲームに挑戦してポイントを競う「縦割り班ウォークラリー集会」を行いました。清流小学校では1～6年生全員を42の班に分けて、縦割り班活動をしています。

集会委員会が企画運営をした、16か所のクイズ・ゲームコーナーを班で回りました。ボール運びや大縄跳び、クイズや運試しサイコロ等、班のみんなで楽しむことができるゲームが盛りだくさんでした。上級生が下級生を優しくリードしたり、みんなで高得点を出して盛り上がり、どの班も時間いっぱい楽しみ、班の絆が深まりました。

